

日本初の「イベント企画者に対する危機管理講習会」です！

新横浜公園(日産スタジアム)

イベント危機管理講習会開催

ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック会場となる各スタジアムでは、国際的なイベントを迎えるにあたり円滑な競技運営に向けた主催者側との調整を行うほか、施設側としても万全の安全管理が求められます。イベント企画段階での会場適正評価、及び、実施段階での組織的に一元化された活動を行うことが不可欠の条件になります。

イベント関係者全体が、イベントの安全・安心を基軸として、成功に向けた一体的な活動が推進できるようこの願いを込めて、実務的でより現場に即した『イベント危機管理講習会』を、トリプルファイナルスタジアムとなる国内最大級の日産スタジアムで開催いたします。

講習会開催の背景

- ✓ 殆どのイベント開催会場には、パニック時(想定されている緊急時ではなく)の来場者に対する安全対応専門家は存在していない
- ✓ 会場施設はパニック時を想定した設計になっていない事実
- ✓ 会場内でのテロや事故、事件によるパニック時の群衆誘導スキルの必要性は誰にあるのか
- ✓ 警備会社だけに責任を負わせるのではなく、イベント開催関係者全員の安全管理コミュニケーション構築の重要性
- ✓ 今まで存在していなかったイベント危機管理講習会を、国内最大級の集客施設である日産スタジアムが開催する意義

講師紹介



セキュリティ・アドバイザー代表
員辻正利氏

大阪府警察本部警備第二課近畿管区警察機動隊連隊副官を歴任し、退官後民間の警備会社で、神戸ルミナリエや淡路花博、愛知万博など大型イベントの警備責任者を務められました。2001年に11人の犠牲者を出した兵庫県明石市での花火大会の7ヶ月前に、同じ場所で行われた「ジャパン・カウントダウン2001」の警備責任者を務め、一時高密度群衆滞留が発生したものの、即座に対応したことで事故を回避できたという経験があり、事故後に雑踏事故を理論的に学ぶために神戸大学大学院に進学され、雑踏警備に関する博士号を取得。「大規模イベント警備」の第一人者として各方面で啓発活動に尽力されています。

開催概要

□主な内容

1. 基調講演
2. イベント安全管理基本講習
3. 大規模花火大会の中止に向けた危機管理
4. 大規模イベントの設営に関する安全管理
5. 大規模イベントの主催に関する安全管理

□受講対象者

イベント主催者、イベント会場施設管理者、イベント警備関係者、その他関係者

□開催日 令和元年5月29日(水) 13～18時
5月30日(木) 9～17時
5月31日(金) 9～12時

□受講料 20,000円

□申込期間 4月26日(金)～5月17日(金)

□申込方法 日産スタジアムホームページ エントリーフォーム

◆後援 横浜市(予定)

イベント学会

(一社)日本イベント産業振興協会

お問い合わせ先

公園管理局(新横浜公園)事業部長 高橋 昌広

TEL045(477)5008